

答弁書第一二八号

内閣参質一八六第一二八号

平成二十六年六月二十日

内閣総理大臣 安倍晋三

参議院議長 山崎正昭殿

参議院議員川田龍平君提出STAP細胞研究におけるエアーマウス疑惑に関する再質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員川田龍平君提出STAP細胞研究におけるエアーマウス疑惑に関する再質問に対する答弁書

一について

御指摘の「山梨大学に保管されているSTAP幹細胞を分析し、一方で、理研に保存されている他のSTAP幹細胞を分析しない」との事実は承知していないが、独立行政法人理化学研究所（以下「理研」という。）の本年六月十二日付けの発表によれば、「理研は、社会的な説明責任を果たしていくために、STAP研究で使用された細胞株等の保存試料の分析・評価等を進めており・・・結果に関しては、中間的なものも含めて適宜公表して」いくこととしていると承知している。

二について

理研によると、理研の発生・再生科学研究推進室等が事実関係を確認しているが、「調査結果の公開」について現時点でお答えすることは困難とのことである。

三について

御指摘の「疑義」については、理研が直接その通報を受けた上で、理研において、調査を行うか否かに

ついて適切に判断されるべきものと考えている。

四について

御指摘の「報道内容の事実関係」については、理研が設置したCDB自己点検検証委員会において検証が行われ、本年六月十二日に「CDB自己点検の検証について」が公表されていると承知している。